

医療機関で検診を受けるときの注意事項

胃がん検診(胃内視鏡検査)を受ける人へ

検査ができない人

- ①胃内視鏡検査に関するインフォームド・コンセントや同意書の取得ができない人
- ②妊娠中の人
- ③抗血栓薬服用中の人
- ④消化性潰瘍等の胃疾患で受療中、経過観察中の人(ピロリ菌除菌中の人を含む)
- ⑤胃全摘術後の人

50~69歳で
内視鏡検査を
希望する人



注意事項

- ①50~69歳の人の胃がん検診は胃部バリウム検査または胃内視鏡検査の選択制になります。
- ②胃部バリウム検査は、年に1回受けることができますが、胃内視鏡検査を受けた場合は、2年に1回となります。そのため、胃内視鏡検査を受けた人は、来年度の胃がん検診(バリウム検査も含む)は対象となりません。
- ③検診を受ける時の注意事項は予約の際に医療機関にご確認ください。

乳がん検診を受ける人へ

検査ができない人

- ①自覚症状がある人(下記の注意事項参照)
- ②授乳中の人
- ③妊娠中、または妊娠の可能性がある人
- ④心臓ペースメーカー、リザーバーポート、パーキンソン病で刺激発生器を埋めている人
- ⑤脳室から腹腔シャントをしている人
- ⑥豊胸手術をしている人
- ⑦病院で受療中、経過観察中の人(詳しくは医療機関にお問い合わせください)

注意事項

- ①乳がん検診では、マンモグラフィ検査のみとなります。乳房などに気になる箇所がある人は、検診を待たずに早めに医療機関を受診し、必要な検査を受けましょう。

